

シャクヤク特報 No.2



JA中野市営農センター
JA中野市シャクヤク部会

いよいよ、シャクヤクの初出荷が迫ってまいりました。今年度の初出荷は4月3日ごろとなりそうです。露地の生育状況は昨年と比べ7日程度早い状況です。気温も高く推移しているためハウス内の換気や、乾燥に注意し管理を行ってください。また露地作型は凍霜害対策を行い安定供給ができるよう取り組みをお願いします。



前年の古い茎を短く切る
芽を傷めないように注意

●露地作型 圃場整理

- (1) 前年の残茎が長く残る場合は灰色かび病の発生原因になるため地際から切り取り処分して下さい
- (2) 除草剤を散布する場合、すでに萌芽しているため株元は避けて通路部分のみの散布としてください。
10当たり ザクサ液剤 300~500 ml + ロックス水和剤 150g 水量 100ℓ

●ハウス栽培の管理

◎4月は強風被害が発生しやすいため、施設管理（ネットによる押え、ビニールたるみの修繕等）をおこなってください。

- (1) 萌芽始めから日中はハウスの換気を行い、25℃を超えないように管理し夜間はなるべく温度を下げないように努めて下さい。雨の日も少し風が入るように換気をし、灰色かび病、すすかび症状の発生を抑えましょう。
- (2) トンネル設置している場合は日中高温になるため換気を行うか、又は萌芽後 50~60cm 間隔に直径 10 cm 程度の穴を数箇所開けるようにして下さい。トンネルの除去時期はシャクヤクの頂点がトンネルに当たる直前に外しましょう。
- (3) 今年度は積雪が少なく水分不足です。伸長期と蕾の肥大期に計2回以上 1株当たり 1ℓ~2ℓ程度の灌水を行きましょう。



換気開始のタイミング

●防除等

【無加温ハウス】

生育ステージ	使用薬剤と濃度	水 100ℓ当り 薬量 (ml, g)	10a当り 散布量 (水)	対象病害虫
摘蕾後	スミチオン乳剤 1,000 倍	100	300ℓ	ハマキムシ類
	ポリオキシシンAL水溶剤 2,500 倍	40		灰色かび病
収穫 3 日前	フルピカフロアブル 2,000 倍	50	300ℓ	灰色かび病
	アルバリン顆粒水溶剤 2,000 倍	50		アブラムシ類

葉面散布

蕾の肥大のため 展葉期~摘蕾後 メリット赤 500倍 3回/5日おき ※農薬混用可

【2条簡易ハウス】

散布時期	生育ステージ	使用薬剤と濃度	水 100ℓ当り 薬量 (ml, g)	10a当り 散布量 (水)	対象病害虫
4月上旬	出蕾期	ゲッター水和剤 1,000 倍	40	200ℓ	灰色かび病

【小トンネル、露地】

散布時期	生育ステージ	使用薬剤と濃度	水 100ℓ当り 薬量 (ml, g)	10a当り 散布量 (水)	対象病害虫
4月上旬	萌芽期	オーソサイド水和剤 80 600 倍	166	100ℓ	立枯病
		オルトラン水和剤 1,500 倍	66		アブラムシ類他
4月下旬	展葉期	ゲッター水和剤 1,000 倍	100	200ℓ	灰色かび病

すすかび症対策防除

耕種的防除：換気を徹底し、風通しの悪い状況にならないように注意する。

生育ステージ	使用薬剤と濃度	水 100ℓ当り 薬量 (ml, g)	10a当り 散布量 (水)	対象病害虫
摘蕾後	スミチオン乳剤 1,000 倍	100	300ℓ	ハマキムシ類
	ポリオキシシンAL水溶剤 2,500 倍	40		灰色かび病
前回散布から 7日後	ポリオキシシンAL水溶剤 2,500 倍	40	100ℓ ※蕾部分を重点的に 防除	灰色かび病
収穫 3 日前	フルピカフロアブル 2,000 倍 アルバリン顆粒水溶剤 2,000 倍	50 50	300ℓ	灰色かび病 アブラムシ類

裏面 凍霜害対策➡

凍霜害対策

露地作型において凍霜害の影響が心配されます。凍霜害による蕾の枯死、「がく割れ」の発生を抑制するために以下の対策を検討ください。

(1) 小トンネル設置

ダンポール等を用いてアーチを作り、被覆資材を張ってトンネル状に被覆を行う。1～1.5℃程度の保温効果があるため霜対策と、半促成となるため作業分散としても有効。



●設置方法

ダンポール（185 cm）を1m間隔でアーチ状に設置し、ビニールの裾が地面に垂れるように被覆して固定する。垂らした部分は重しを置くか、被覆の上からダンポールを設置し萌芽するまで固定しておく。

(2) 霜ガード

ゼオライトに肥料を添加した多孔質乾燥資材で農薬との混用可能。－3～4℃の霜に効果期待。

●使用方法

希釈倍率 50倍 水量 100ℓ/10a
 1袋につき50a分

散布タイミング 前日～3日前

※前日散布の場合気温が温かい時間に散布を行ってください。

●注意点

薬剤の汚れが目立つため、展葉期以降の散布は行わないようにしてください。単剤散布の場合は展着剤は使用しなくてよいです。



設置方法等詳細につきましては講習会等でお知らせいたしますので、別紙講習会日程をご確認していただきご参加ください。

～おしらせ～

人事異動に伴い、花き担当に変更があります。
R5年度につきましては野菜、水稻、花きの3品目を担当します。
以前野菜と水稻を担当していた職員が花の担当となります。皆様にご不便おかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

久野 担当地区：01・02・03・04 携帯 080-6998-0407
佐藤 担当地区：05・06 携帯 080-6932-1294
松井 担当地区：07・08・09 携帯 090-6397-1620

お問い合わせ 園芸課 ☎0269-23-3933